



2027年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年8月13日

上場会社名 株式会社アバールデータ

上場取引所

東

コード番号 6918

URL <https://www.avaldata.co.jp/>

代表者（役職名）代表取締役社長

（氏名）岩本 直樹

問合せ先責任者（役職名）取締役管理本部部長

（氏名）三川 宏（TEL）042-732-1000

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

（百万円未満切捨て）

1. 2027年3月期第1四半期の業績（2026年4月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2027年3月期第1四半期	3,214	75.3	415	338.6	463	242.1	316	250.2
2026年3月期第1四半期	1,833	△37.6	94	△75.1	135	△69.7	90	△71.0

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	54.45	—
2026年3月期第1四半期	14.67	—

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2027年3月期第1四半期	24,683	21,673	87.8
2026年3月期	22,570	20,313	90.0

（参考）自己資本 2027年3月期第1四半期 21,673百万円 2026年3月期 20,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	45.00	—	55.00	100.00
2027年3月期	—				
2027年3月期（予想）		51.00	—	55.00	106.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2027年3月期の業績予想（2026年4月1日～2027年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	6,100	42.1	840	165.4	890	133.1	1,250	344.7	214.95
通期	12,500	41.6	1,720	149.3	1,800	133.0	1,900	242.9	326.72

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年3月期1Q	6,367,842株	2026年3月期	6,367,842株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	552,539株	2026年3月期	552,539株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年3月期1Q	5,815,303株	2026年3月期1Q	6,161,903株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査 : 無
法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件等については、【添付資料】3ページ（3）「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第1四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、中東情勢の緊迫化に伴う調達コストの負担増や物価上昇などの景気を下押しするリスクはあったものの、雇用環境の改善や賃上げの進展もあり持ち直しの動きがみられました。

当社に関連深い半導体製造装置市場では、半導体メモリ価格高騰による部品調達コスト増加懸念はありますが、生成AIに牽引された先端ロジックやHBM向け装置の需要が引き続き高水準で推移する中で、前工程装置向けの拡大や、検査装置向けの投資が本格化するなど、事業環境が反転し、半導体製造装置関連が増加を牽引する状況となりました。

このような経営環境のもと、当社では当期から新中期経営計画に基づき、必要な資本政策を実施するとともに、『お客様に価値を提供し、お客様の満足と信頼を得る』ために、主力製品の拡張や新分野開拓による新たな価値提供を目指し、研究開発と人材リソースの成長領域への再配分による生産力の強化に努めてまいりました。

この結果、当第1四半期累計期間における売上高は3,214百万円(前年同四半期比75.3%増)、営業利益は415百万円(前年同四半期比338.6%増)、経常利益は463百万円(前年同四半期比242.1%増)、四半期純利益は316百万円(前年同四半期比250.2%増)となりました。

当社は、事業内容を2つの報告セグメントに分けております。当第1四半期累計期間におけるセグメント別の状況は次のとおりであります。

① 受託製品

当該セグメントは、半導体製造装置関連、産業用制御機器および計測機器の開発・製造・販売を行っております。一部顧客の受注残の製品が完成、納入が進んだことから、想定を上回り推移いたしました。

この結果、売上高は2,235百万円(前年同四半期比105.6%増)、セグメント営業利益は364百万円(前年同四半期比323.6%増)となりました。

当該セグメントの品目別売上の状況は次のとおりであります。

イ) 半導体製造装置関連

当該品目は、半導体製造装置の制御部を提供しております。受注残の製品の完成、納入が進みましたが、一部で生じた在庫調整が収束し回復が見られ、想定を大幅に上回り推移いたしました。

この結果、売上高は1,877百万円(前年同四半期比157.9%増)となりました。

ロ) 産業用制御機器

当該品目は、各種の産業用装置、社会インフラ関連の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。検査装置や社会インフラ関連の一部顧客が堅調に推移し、想定を上回り推移しました。

この結果、売上高は287百万円(前年同四半期比13.3%増)となりました。

ハ) 計測機器

当該品目は、各種計測機器のコントローラ、通信機器の制御部の開発・製造を行いカスタマイズ製品として提供しております。受注残の製品完成、納品が進みましたが、一部顧客の需要減により、想定を下回り推移いたしました。

この結果、売上高は70百万円(前年同四半期比33.2%減)となりました。

② 自社製品

当該セグメントは、組込みモジュール、画像処理モジュールおよび計測通信機器の開発・製造・販売と、自社製品関連商品の販売を行っております。全般的な産業装置における設備投資により一部顧客が増加基調になったこともあり、想定を大幅に上回り推移いたしました。

この結果、売上高は978百万円(前年同四半期比31.2%増)、セグメント営業利益は259百万円(前年同四半期比55.0%増)となりました。

当該セグメントの品目別売上の状況は次のとおりであります。

イ) 組込みモジュール

当該品目は、半導体製造装置、医療機器関連、FA全般、電力・通信関連向けに提供しております。半導体製造装置、医療機器関連を中心に堅調に推移し、想定を上回り推移いたしました。

この結果、売上高は119百万円(前年同四半期比5.7%増)となりました。

ロ) 画像処理モジュール

当該品目は、FA全般、各種検査装置、液晶関連機器に提供しております。一部顧客の需要増もあり、想定を大幅に上回り推移いたしました。

この結果、売上高は561百万円(前年同四半期比75.3%増)となりました。

ハ) 計測通信機器

当該品目は、超高速シリアル通信モジュール「GiGA CHANNEL」シリーズを提供しております。「GiGA CHANNEL」シリーズ関連の検査装置向けの受注は、一部顧客の需要増もあり、想定を上回り推移いたしました。

この結果、売上高は285百万円(前年同四半期比4.2%減)となりました。

ニ) 自社製品関連商品

当該品目は、自社製品の販売促進とシステム販売による高付加価値化を図るため、ソフトウェアおよび付属の周辺機器を提供しております。自社製品関連商品は、想定を下回り推移いたしました。

この結果、売上高は12百万円(前年同四半期比16.1%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期会計期間末における資産は24,683百万円(前事業年度末比2,113百万円の増加)となりました。

増加要因として、主に、現金及び預金が538百万円、受取手形、売掛金及び契約資産が54百万円、投資有価証券が時価変動の影響等により1,989百万円、それぞれ増加しております。

減少要因として、主に、電子記録債権が147百万円、商品及び製品が95百万円、原材料及び貯蔵品が240百万円、それぞれ減少しております。

(負債)

当第1四半期会計期間末における負債は3,009百万円(前事業年度末比753百万円の増加)となりました。

増加要因として、主に、繰延税金負債が672百万円、その他が144百万円、それぞれ増加しております。

減少要因として、主に、賞与引当金が57百万円、役員賞与引当金が13百万円、それぞれ減少しております。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産は21,673百万円(前事業年度末比1,360百万円の増加)となりました。

この増加は、主に、時価変動に伴い、その他有価証券評価差額金が1,363百万円増加したことによりです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の業績予想につきましては、2026年5月14日公表の「2026年3月期 決算短信」に記載の、2027年3月期の業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、本日(2026年8月13日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、今後、業績予想などに影響を及ぼす事象が生じた場合には速やかに適時開示を行います。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,001,418	7,539,720
受取手形、売掛金及び契約資産	1,862,447	1,916,802
電子記録債権	242,217	94,566
商品及び製品	753,926	658,090
仕掛品	259,508	303,315
原材料及び貯蔵品	4,754,423	4,513,959
その他	61,530	55,183
流動資産合計	14,935,472	15,081,638
固定資産		
有形固定資産		
土地	1,183,515	1,183,515
その他(純額)	1,900,850	1,877,739
有形固定資産合計	3,084,365	3,061,254
無形固定資産	44,984	43,926
投資その他の資産		
投資有価証券	4,415,785	6,405,355
関係会社株式	25,500	25,500
前払年金費用	20,785	23,583
その他	43,559	42,573
投資その他の資産合計	4,505,630	6,497,011
固定資産合計	7,634,980	9,602,192
資産合計	22,570,452	24,683,830
負債の部		
流動負債		
買掛金	710,902	708,481
未払法人税等	99,885	109,527
賞与引当金	175,579	118,419
役員賞与引当金	30,358	16,577
その他	248,210	392,804
流動負債合計	1,264,935	1,345,809
固定負債		
繰延税金負債	990,548	1,662,989
役員退職慰労引当金	1,130	1,130
固定負債合計	991,678	1,664,119
負債合計	2,256,613	3,009,929

(単位:千円)

	前事業年度 (2026年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2026年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,354,094	2,354,094
資本剰余金	2,444,942	2,444,942
利益剰余金	14,014,196	14,011,025
自己株式	△1,033,189	△1,033,189
株主資本合計	17,780,044	17,776,874
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	2,533,793	3,897,026
評価・換算差額等合計	2,533,793	3,897,026
純資産合計	20,313,838	21,673,901
負債純資産合計	22,570,452	24,683,830

(2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位:千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
売上高	1,833,426	3,214,167
売上原価	1,289,287	2,250,430
売上総利益	544,139	963,737
販売費及び一般管理費	449,384	548,115
営業利益	94,754	415,622
営業外収益		
受取利息	585	2,305
受取配当金	37,841	41,097
受取賃貸料	1,950	1,604
為替差益	—	0
その他	390	3,000
営業外収益合計	40,767	48,006
営業外費用		
為替差損	5	—
営業外費用合計	5	—
経常利益	135,516	463,628
特別損失		
固定資産除却損	287	0
特別損失合計	287	0
税引前四半期純利益	135,229	463,628
法人税、住民税及び事業税	5,112	100,852
法人税等調整額	39,699	46,105
法人税等合計	44,812	146,957
四半期純利益	90,417	316,670

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	受託製品	自社製品	合計
売上高			
外部顧客への売上高	1,087,485	745,941	1,833,426
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	1,087,485	745,941	1,833,426
セグメント利益	86,036	167,687	253,724

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	253,724
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△158,969
四半期損益計算書の営業利益	94,754

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第1四半期累計期間(自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	受託製品	自社製品	合計
売上高			
外部顧客への売上高	2,235,829	978,338	3,214,167
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	2,235,829	978,338	3,214,167
セグメント利益	364,470	259,915	624,385

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	624,385
セグメント間取引消去	—
全社費用(注)	△208,763
四半期損益計算書の営業利益	415,622

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	48,625千円	43,208千円